

労農連帯を一層強め、三里塚・ジェット闘争を貫徹しよう!

# 千葉の破壊の 失敗にあせる「本部」反動集団!

☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆

去る八月二二日、佐倉支部において動労千葉破壊策動にやってきた「本部」藤井をはじめ、小田、芳原などが、居合わせた佐倉支部の一〇〜一五名の乗務員に「暴力問題」「水本」などを徹底的に追及され、ほうほうの態で逃げ帰ったのである。「本部」反動集団は、全国大会でさらしものにした津田沼の島田・斉藤(吉)や新小岩の木皿・格和など裏切り密通分子の出退勤の防衛にやっきとなっていて一方、他支部にも人間関係づくりと称して「オルグ」に入っている。われわれは、「本部」反動集団の動労千葉破壊の先兵となった裏切り・密通分子糾弾・一掃の闘いをさらに強力に展開しなければならぬ。

☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆

「暴力」「水本」で追及され、たじたじとなった「本部」藤井!

昨今の「オルグ」の実態(その8)

八月二二日・佐倉支部

去る八月二二日、一時ごろ、佐倉支部・乗務員詰所に「本部」藤井、小田、芳原など反動分子約一〇名が来た。

当日は、一〇〜一五名の乗務員が居合せ、一斉に「津山大会をはじめとする組合内における暴力問題」「水本問題」などで「本部側」を追及しはじめた。

初め、藤井某は、「私は津山大会に参加してはなかったからよくわからない」などと多くの乗務員からの追及をにげていた。

たまりかねた小田某などが「千葉が悪い」などと反撃しようとしていたが「何しに来た」「帰れ、帰れ」と多くの乗務員にいわれて、たじたじとなつて、ほうほうの態で逃げ帰っていったのである。

篠塚(本部部員)、支部旗・支部書類の窃盗(4/2)を認め、返還を約束!

昨今の「オルグ」の実態(その9)

八月二二日・成田支部

八月二二日、「本部」部員の篠塚を先頭に一三名が成田支部に現われる。

去る四月一二日、「オルグ」と称して動労千葉破壊のためにやってきた「本部」反動集団は、成田支部組合事務所の「カギ」をこわし、乱入し、中に入った支部旗や支部書類や私物までも五つのダンボールにつめ込み盗みさつたのである。

このことについて成田支部組合員からはげしく追及され、「本部」部員の篠塚は、はじめは、白をきり、いなおっていたが、多くの組合員の事実にもとづく追及の前に、ついに、窃盗行為を認め

ざるを得なかったのである。

篠塚・「全国大会の報告に来た」

支部組合員・「盗んだ組合旗や書類を全部返してから話をしろ」

篠塚・「いまだどこにあるかわからない」

支部組合員・「本部組織部に電話して聞け」

篠塚がしぶしぶ受話器をとって電話をかける。

篠塚・「みんな出かけていないそうだ」

支部組合員・「二八地本全部に電話してさがし出せ」

篠塚・「それだけはかんべんして下さい」

支部組合員・「今度来るときは、必ず盗んだものを持ってくると約束しろ」

篠塚・「はい」

支部組合員・「じゃ一筆書け」

篠塚・「それだけはかんべんして下さい」

支部組合員・「じゃ、お前が責任をもって今度来るときは、ダンボール箱を必ず持つてくるんだな」

篠塚・「はい」

こうして「本部」部員篠塚は、去る四月一二日に自らのおかした窃盗について全面的に認め、謝罪し、返還を多くの組合員のいる前で、約束し認めためたのである。

全支部で徹底した糾弾・追及行動を!

全国大会で鮮明になったように、動労千葉の主張と行動の正義性はますます広範に理解され、動労大改革は着実に前進している。

動労千葉破壊策動の総破綻とゆきづまりの中で、全国大会に裏切り・密通分子狩り出しという最後の手段にころがり込んだ「本部」反動集団は、なんとしても動労千葉破壊をなしとげようとやっきとなつていっている。

こうした彼らのおせりかられた策動をとらえて、一つ一つを粉砕しなければならぬ。

全支部で反動分子に対する一層徹底した追及と糾弾行動を展開しよう。

全組合員・家族の強固な団結で組織破壊攻撃を粉碎せよ!